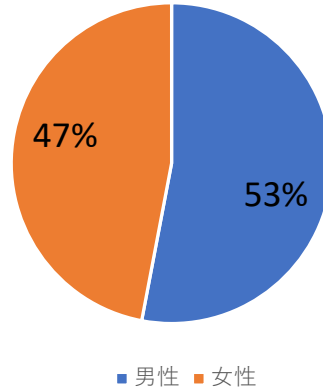


# 一宮町転出者アンケート集計結果

実施期間 平成31年7月1日～令和3年3月31日

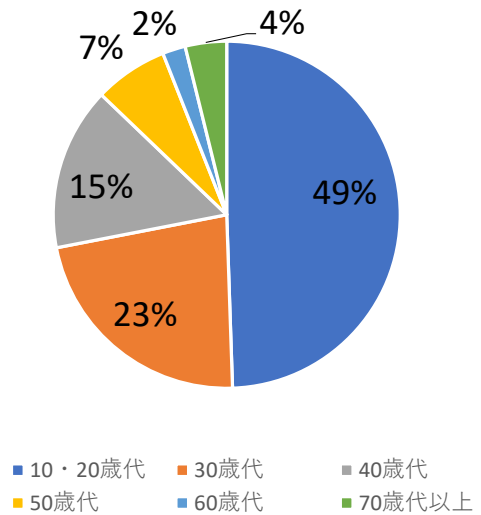
## 問1①. 性別

○ 男性	248人
○ 女性	220人
○ 全体	468人



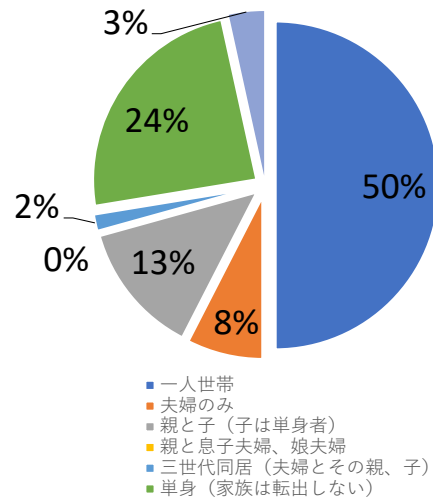
## ②. 年代

○ 10・20歳代	231人
○ 30歳代	105人
○ 40歳代	71人
○ 50歳代	32人
○ 60歳代	10人
○ 70歳代以上	18人



## ③. 転出する家族の構成

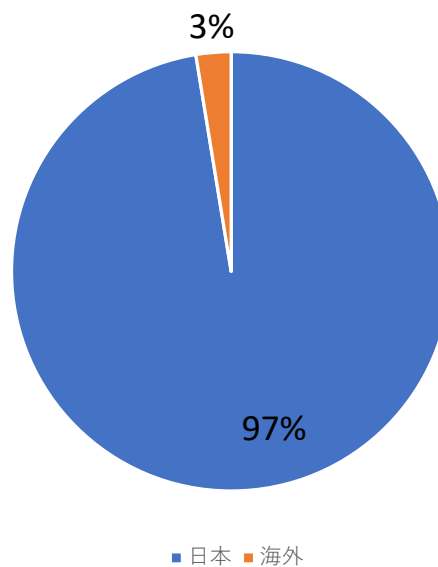
○ 一人世帯	232人
○ 夫婦のみ	35人
○ 親と子(子は単身者)	61人
○ 親と息子夫婦、娘夫婦	0人
○ 三世帯同居(夫婦とその親、子)	8人
○ 単身(家族は転出しない)	112人
○ その他	16人



#### ④. 転出後の住所

- 日本
- 海外

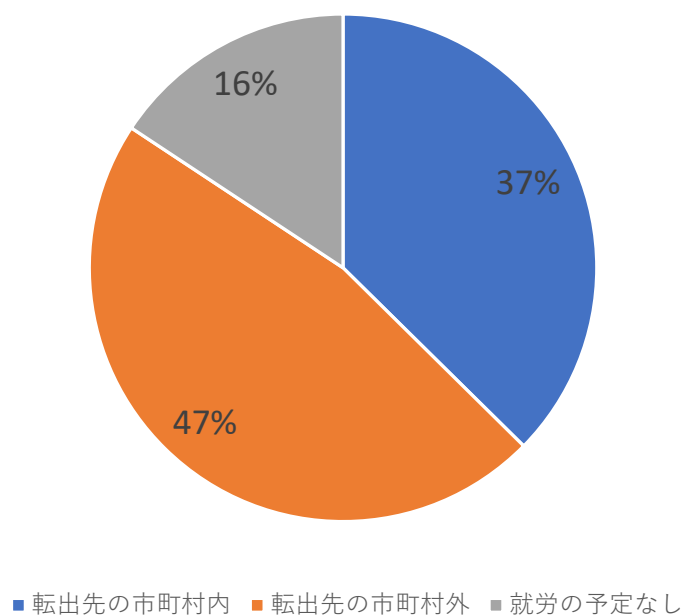
454人  
12人



#### ⑤. 転出後の勤務地

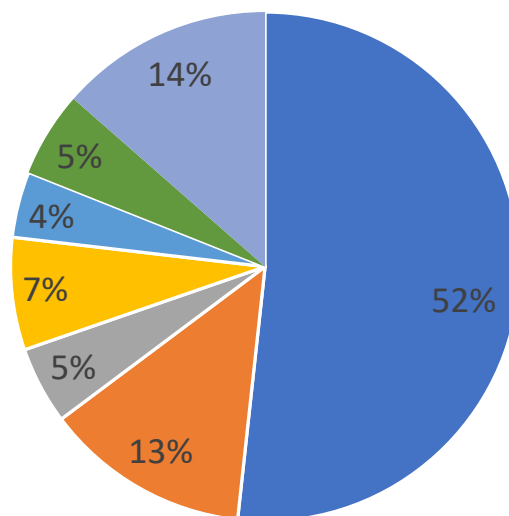
- 転出先の市町村内
- 転出先の市町村外
- 就労の予定なし

169人  
212人  
71人



## 問2. 転出される最も大きな理由は何ですか

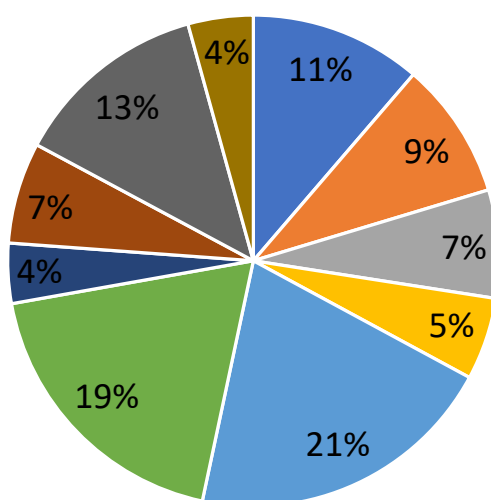
- 仕事の都合(就職、転勤など) 210人
- 結婚 53人
- 学業の都合(進学など) 20人
- 家庭の都合(介護など) 29人
- 親やこどもの近くに住むため 17人
- 転出先に魅力を感じた 22人
- その他(※観光業による収入の維持、住民の足(コミュニティバスなど) 55人



- 仕事の都合(就職、転勤など)
- 結婚
- 学業の都合(進学など)
- 家庭の都合(介護など)
- 親やこどもの近くに住むため
- 転出先に魅力を感じた
- その他(※観光業による収入の維持、住民の足(コミュニティバスなど)

問3. 一宮町が「もっと住みやすいまち」になるために必要なことは何だと思えますか

○ 快適な住環境の整備(宅地、景観など)	100人
○ 道路や下水道などのインフラ整備	80人
○ 保育所や子育て環境の充実	63人
○ 学校や教育環境の充実	48人
○ 中心市街地(駅周辺)の活性化	181人
○ 働く場所の充実	167人
○ 福祉(高齢者・障害者など)の充実	35人
○ まちの安全性の向上(防災・防犯など)	59人
○ 病院や医療体制の充実	114人
○ その他(※カフェ欲しいです)	38人



- 快適な住環境の整備(宅地、景観など)
- 道路や下水道などのインフラ整備
- 保育所や子育て環境の充実
- 学校や教育環境の充実
- 中心市街地(駅周辺)の活性化
- 働く場所の充実
- 福祉(高齢者・障害者など)の充実
- まちの安全性の向上(防災・防犯など)
- 病院や医療体制の充実
- その他(※カフェ欲しいです)

